

徳島県鳴門市方言の否定の表現

小野 米一

I. はじめに

1. 調査対象地： 徳島県鳴門市は、戸数約2万2千戸、人口約6万5千人（平成6年12月現在）、徳島市の北約15km、四国の東北端に位置し、鳴門大橋で兵庫県淡路島につながる海沿いの町である。古来、交通の要衝とされたが、近く明石大橋が開通すれば、その役割はさらに重要なものとなろう。産業は、農業（さつまいも）・漁業（タイ・ワカメ）、製造業（塩・タビ・薬品）、観光（うず潮）などがあり、物資の輸送のほか、四国遍路の出発地としても知られる。鳴門市は県都徳島市との交流が密接であるが、香川県高松市とも、また阪神（大阪市・神戸市）方面ともつながりが深い。鳴門市の方言は、北灘町・瀬戸町・鳴門町を主とする漁業地域、里浦町・大津町・大麻町を主とする農業地域、撫養町を主とする市街地域などにより、多少の違いがあるようであるが、本稿では「鳴門市方言」として報告する。
2. 調査年月日： 1995年1月7日 午前10時～12時30分。なお、1月16日（午前10時～12時20分）に確認調査。4月2日（午前10時～12時10分）に再確認調査。必要に応じて、*（1月16日）、#（4月2日）で示す。
3. 話者： 増田 明、大正11年6月1日生（72歳）、男、無職（元教員）。鳴門市北灘町生まれ。小学校2年のとき麻植郡川島町へ。麻植中学校（現川島高校）卒業後、東京へ出て、國學院大学を昭和19年9月（戦時中のため繰り上げ）卒業。兵役の後、21年5月復員帰国。昭和23年4月新制中学校教員、翌24年新制高校教員となり、徳島商業高校、城東高校、鳴門高校、城南高校、城ノ内高校に勤務。昭和58年3月退職。40年余り前から鳴門市撫養町岡崎在住。平成元年5月、『鳴門の方言』を自費出版、当地の方言についての造詣が深い。今回の調査には終始ていねいにご教示いただいた。話者の説明は（ ）内に、調査者の注記は< >内に記す。なお増田氏自身はガ行鼻音（いわゆる鼻濁音）を持たないとのことである。
4. 調査者・調査場所： 小野米一、話者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査

II. 調査結果

1. 行かない ○キョーワ アメガ フルケン イケヘン ナー。#（「イケヘン」これを使う。否定形と言えは「～ヘン」をつけるのが特色。）
2. 降らない ○キョーワ アメガ フレーヘン ワ。#（「フレーヘン ソヨ。」も使う。「フランチャー カ」は反語、詰問。）
3. 行きません ○キョーワ ドコモ {①イカン ワ。（親しい間）②イケヘンワ。（ちょっと目上の人に）} *（年配者は「イキマヘン」「イケシマヘン」を使う。若い子は「イケヘン ワ」のような直接的な言い方しかない。）#（老人

語として「イケヘンノデス ワ。」がある。)

4. 行きはしない #①ドコッチャ イケヘン。 / #②ドコーツチャ イケヘン。
(強めのためにはアクセントを強くする。)
5. いらっしゃらない ①センセーワ キョーワ ドコエモ {①イカン ノー。
(女) ②イケヘン ナー。(男)} (アクセントをやわらかくして、親愛感をこめて言う。) / #②キョーワ ドコッチャ オイデナハラン ノデ。(年配者) / #③センセー キョーワ ドコモ {①オイデヘンノ デ。②オイデナイン デ。
#③イキナハラン ノデ。#④オイデナハラン ノデ。} (年配者のことば。)
6. 行かなかった ○キョーワ ドコッチャ {①イケヘナンダ。# (一般的。) ②イカナンダ。# (①②両方とも使う。使い分けはよく分からない。) #③イカンカッタ。(女性語。)}
7. 行きはしなかった ○ドコッチャ イケヘナンダ {①ゾー。(男) ②ヨー。(女)} (「ゾー」をつけると強くひびく。) * (「イキャヘナンダ」はよそから入ってきたことばやないか。「イカナンダ」は使うと思う。)
8. 行くまい ○キョーワ ドコエモ {#①イカンドロー。#②イケヘンドロー。(一般的。)} # (「マイ」は鳴門では言わないと思う。)
9. 出まい ○キョーワー ドコエモ {①デカケヘン ワ。(年配者) ②ユカンゾナー。(若い人)} * (「デマイ」はあまり使わないと思う。#「デンドロー」「デーヘンドロ」などと言う。)
10. すまい ○キョーワ ナンモ セーヘン ワ。 <「すまい」の形は得られなかった。> # (「セーヘン」「セーヘンドロ」と言う。)
11. 降らないだろう ○キョーワ アメー {①フレヘンドロ ナー。②フランドローナー。#③フランドヒョー ナー。(年配者) #④フレヘンデショー。(一般的に、ていねいなことば。)}
12. 降るにちがいない ○アシタワ {①アメジャ。②アメガ フル ワ。③アメデヨー。④フルント チャウ デ。《誘導》} * (「アメガ {①フル デヨ。②フル ワ。}」と言う。「アメダロ ナー。(年配者)」とも言う。)
13. 来ない ○キョーワ ダレモ {#①キエヘン ワー。(男) #②キエヘン ジェー。(女)} # (「キエヘン」が一般的。)
14. 来はしない #○ゼッタイ ダレツチャ キエヘン。
15. 来なかった ○キョーワ {①ダレモ #②ダレツチャ} # {①キエヘナンダ (ナー)。②コナンダ。(これも言う。)}
16. 見ない ○ダレモ ミーヘン。(否定形は「ヘン」を使う。)* (「ミヤヘン」はあるかもしれないが、よく分からない。「ミーヘン」がここの言いかた。)
17. 居ない ①ダレモ オラン ゾー。 / #②ダレツチャ オレヘン。 * (「オラ

- ン<少>」「オレヘン」両方とも使うが、地域的な差があるかもしれない。))
18. 行かずに ○キョーワ ドコッチャ {①イカント #②イケヘント} イエニ
 {①オル ワ。(男) #②オル デ。(女)} * (「イカント」「イカイデ」
 どちらも同じように使う。) # (「イカンスク」もある。)
19. 行かなくても ○イカンデモ エーデ ナイ {①カ。(男) ②デ。(女)間}
20. 行かなければ #① {①イカナ ②イカニャー} ヨカッタント {①チガウ
 カ。②チャウ カ。#③チャウ ンデ。} / ②イカンデモ ヨカッタント ~。
 / #③イカント イトラ ヨカッタ。 * ①イカンデモ ヨカッタ ナー。(行
 く必要がなかった。) / ②イカント ヨカッタ ナー。(行かないことが結果的
 によかった。) / ③イカナンダラ ヨカッタ《誘導》 / ④イカナ ヨカッタ《誘
 導》(③④は行ったことが結果的に悪い場合に後悔するような気持ちで言う。)
21. 行かねば ○アシタワ ドシテモ {①イカナ イカンケン ナー。(一般的)
 #②イカンナン ノンヨ。(女性)}
22. 行かねばならない ○イカナ イカン * ①イカン ナラン(男) / ②イカナ
 ナラン(②はちょっと強める気持ち?) # 「~ノヨ。」をつけると女性的。
23. ~ズ(ヤ・ジャ・ダ) ○「イカズ」は言わない。また、「ズク」も使わない。
 (「ドコッチャ イカント イエニ オッタ ソー。」「~オッタ デー。」
 「キョーワ ダレニモ アワント オッタ ナー。」「~ アエーヘナング。」
 と言う。) * ①イカズジャ。《誘導》 / ②イカンスクジャ。《誘導》(「キョ
 ーワ ドコッチャ イカンスク スンダ。」のようにも言う。#老人のことば)
 / ③アワンスクジャ。(「ズク」も阿波のことば。) # ○ドコッチャ {①イ
 カズジャ。②イカンスクジャ。}
24. 行きもせず ①オタガイニ モー イキキ セーヘン ナー。 / ②コッチカラ
 イケヘンシ、ムコーカラモ {①ケーヘン #②キエヘン} (両方) ナー。
25. 行くか行かないかわからない ○アシタ イクカ {①イカンカ ②イケヘンノ
 カ} ワカラン {ナー(男性)。ワー(女性)。} (②が一般的)
26. 無い ①コンダケジャ。 / ②コンダケカ ナインジャ。(ちょっと強い表現)
27. 無い #①コトシノ ヨーナ アツイ トシワ ナイ ナー。(一般的) #②イツ
 チョ(モ) アレーヘン ナー。(強めて言う場合)
28. ありはしない ○コンナ アツイ トシワ アレーヘン ナー。
29. 無かった ①コンナ アツイ トシワ {①ハジメテヤ ナー。 ②シラン ナ
 ー。} / #②コンナ アツイ トシワ アレーヘナング ナー。
30. ありはしなかった ○コンナ アツイ トシ ホンマニ {①ナカッタ ナー。
 ②シランナング ナー。③アレーヘナング《誘導》 # (③が一般的)}
31. 無いだろう ○コンナ アツイ トシワ モー ニドト {①ナイダロ ナー。

(一般的) # ② ナイ ワナー。③ ナイジャロ ナー。(年のいった人) # (少ないと思う。) }

32. 無ければ ○コンナ アツイ トシワ ナカッタラ エーノニ ナー。
33. 暑くない ○キョーワ マー アマリ アツー ナイ ナー。 * (「アツー ナイ」とは言うが、「アツー アレヘン」とは言わない。)
34. 暑くはない ①キョーワ ゼンゼン {①アツー ナイ ナー。②アツーフ ナイ ナー。《誘導》(強める場合) } / # ②キョーワ スズシー ナー。(一般的にここではこう言う。)
35. 暑くなかった ○キョーワ ホンナニ アツー ナカッタ ナー。
36. 暑くはなかった ○アンマリ アツーフ ナカッタ ナー。 <35との区別ははっきりとしない。 > # (「アンマリ」は「アンマレ」とも言う。)
37. 暑くないだろう ○アシタモ アンマー アツー ナイダロ ナー。 * (「ナイダロ」がここでは一般的。) # (「アンマー」は「アンマレ」とも言う。若者は、「～ アツー ナイント {①チャウ デー。②チャウ カー。}」。)
38. 涼しくない ①キョーワ アンマリ スズシュー ナイ ナー。 # (「アンマリ」は「アンマレ」とも言う。) / # ②キョーワ アツイ ナー。(こう言う。)
39. にぎやかでない ○アンマリ {①ハヤットラン ナー。(ちょっと古い表現。年配者) ②ニギヤカデ ナイ ナー。(一般的) * ○ニギヤカジャー ナイ ナー。(「ニギヤカデ ナイ ナー。」に比べてちょっと強い感じがする。)
40. にぎやかではない ○アンマリ ニギヤカデワ ナイ ナー。
41. にぎやかでなかった ○アシコワ ニギヤカデ {①ナカッタ ナー。②サビシー マチャッタ ナー。}
42. にぎやかではなかった ①アンマレ ニギヤカデワ ナカッタ ナー。 / ②ニギヤカジャ ナカッタ 《誘導》 (「ニギヤカデ ナカッタ」に比べて、ジャの方がちょっと強い。) * ○ニギヤカヤ ナカッタ (若い人がこう言うのをときどき聞く。なんだかこう甘えているような感じがする。)
43. にぎやかではなからう ①アノヘンワ モー ハヤットランノト チガウ カ。 # (一般的) (年寄りには「ハヤル」を使う。) / ②アノヘンワ ニギヤカデ ナイン (ト) {①チガウ カ。②チャウ カ。③チャウ カ。 # ④チャウ デ。(②③は若い人たちのことば、④は女性語) }
44. 花ではない ○ハナト {①チャウ。(若者) ②チガウ。(一般的) }
45. だめだ(不可) ○ホンナン ナンボ シタッテ {①アケヘン ワ。②アカンワ。}
46. だめな(不可) ①アイツ アカン ワ。 / ②アンナ ヤツ アケヘン ナー。 / ③アイツ、アケヘン ワ。 / ④アイツワ {①アカン ヤッチャ ナー。(多

- い) ②アケヘン ヤッチャ ナー。} 《誘導》
47. つまらない ①モー ヤメトケ。/②ホンナン ユワント ヤメトケ。/③モー ユーナ。<「つまらない」に相当する語形得られず。>/#④ツマラン コト ユーナ。/ #⑤タッスイ コト ユワレン。(“つまらないことを言っはいけない”の意。)/#(「ショーモ ナイ コト ユーナ。」のようにも言う。)
48. いけない(禁止) ○モー ホンナ トコエ イクナ。(「ホンナ トコ イッキョットラ ロクナ コト ナイ ゾ。」「～ アレヘン ゾ。」などと言う。)<「いけない」にあたる言い方得られず。> *○ホンナ トコエ {①イクナ。②イッキョットラ ロクナ コト アレヘン ゾ。③{①イッター ②イッタラ} アカン ゾ。} (「イクナ」は強い禁止を表す。「アカン」は強い禁止の気持ちを込める、強く止めようとするとき) /#○～ イットラ イカン。○～ イットラ アカン。(二つはまあ同じ。一般的にこう言う。「～ アカンゾー。」のようにも言う。)
49. 行カレン(禁止) ①ホンナ トコ イットラ アカン デ。/②ホンナ トコ {①イカレン ヨ。(間接的。子どもに向かって年のいった人が。)} ②イクナ。(直接的)} # (「イカレン」は一般的。年配者は「イキナハンナ」)
50. 行くな(禁止) ①ゼットアイ {①イクナ。②ヤメトケ。}/②ホンナ トコ {①イクン ヤメナ。(女性用語)} #②イカレン ジェー。(“行ったらいけない”の意。女性も男性も使う。)}
51. するな(禁止) ①セラレン(一般的)/②シラレン(年配者)/③ホンナ コト シタラ アカン デ。(やわらかい表現)/④ホンナ コト {①スナ。②スルナ。} 《誘導》(男の子の若い子には。①の方が強い表現) * (「シラレン」は「してはいけない」の意。「この池の魚はツラレン」「ここに車はオカレン」は「釣ってはいけない」「置いてはいけない」の意。)
52. 行くもんじゃない ○ソんな トコエ イットラ {①イカン。 ②アカン ゾー。} (②の方がちょっと強いのではないかと思う。) * (「イク モンジャナイ」は少ないけれども使うこともある。)
53. たまらない ①アツーテ (アツーテ) タマラン ナー。/②アツーテ {①オレン ナー。(言うことがある。)} ②カナワン ナー。《誘導》<これも言うことがあるらしい。> *③モタン ナー。《誘導》}
54. しかたがない ①イツマデモ マテン ナー。/②イツマデモ マッテモ ショーガ ナイ ナー。
55. 楽ではない ○コノ アツイノニ アルクン {①タマラン ナー。②タイギジャ ナー。(年配者)} ③ラクデ ナイ ナー。} * (「ラクジャ ナイ ナー。」は使う。)

56. 歩きたくない ①モ一 アルクン イヤン ナツタ ナ一。／②コノ アツイノ
ニ ホンナニ ヨ一ケ アルケル カ。／③～ {①アルキター ナイ②アルキ
ト一 ナイ (①②どちらも使う。①の方が若い人でしょうねえ。)}
57. 大丈夫だ ①シンバイ セ一デモ エ一ウ。タイシタ コト ナイ ウ。／②
ダンナイ《誘導》(年配者。最近ではホンマ使わんようになった。) *○シンバ
イ セ一デモ {①ダイジョ一ブダ。②タイシタ コト アレ一ヘン。(稀)}
(「ダンナイ」《誘導》「ダイジナイ」は年配者が使う。)
58. いや。 ①イヤ。 {①アメヤ フレ一ヘン ワ。<「イヤ。」は誘導>#②アメ一
フレ一ヘンナダ。}／②キニョ一 ジエンジェン フレ一ヘン ワ。
59. いや。(強い否定) *○イーヤ、アメ フレ一ヘン ワ一。
60. いいえ。 ①イヤ フレヘンナダ デヨ。／②イヤ フラナダ デヨ。(「デ
ヨ」をつけると、やさしい感じになる。) <「いいえ。」のようないねいな言
い方は得られなかった。> *○イーヤ {①フレ一ヘンナダ デヨ一。②フラ
ナダ デヨ一。} (「デヨ」をつけると、ことばづかいがやわらかく上品にな
る。)
61. いや。(否定問いかけに対する応答) ①*○イヤ一 アメワ フツタ ソ一。
②エ一、フレ一ヘンナダ デヨ一。
62. どういたしまして。 ○イヤ ド一モ。(私はこう言うくらいだ。実際には、そ
の場その場でいろいろに言うと思う。) / *①イヤ イヤ一。②ド一 イタシマ
シテ一。(このへんの人は一般的には使わないようだが、私は使う。ここの人
は「イタス」というような謙譲の言い方はあまり使わない。「ド一 シマシテ」
ぐらいのところか。) / #イヤイヤ一、タイシタ {①オセワモ ②オモテナシ
モ} デキマヘン。
63. できない ①ホンナ コトワ デケン デヨ一。(ぞんざいな感じ) / ②ワタシ
ワ ホンナン デケヘン ワ一。(「デケヘン」の方がちょっといいいな気持
ちをこめるんでしょうねえ。) / * (可能は「デキル デヨ一。’) / #クロー
テ ヨム コトガ デケヘン ワ。
64. 読むことができない(状況) ○クローテ シンブンガ {①ヨメン ナ一。
②ヨメヘン ナ一。(「読めない」) ③ヨメレン ナ一。(「読むことができな
い」という気持ちを強くこめる。)} / * (可能は「ヨメル ナ一。’))
65. 読むことができない(能力) ○コドモジャケン シンブン {①ヨメン ワ。
②ヨメン ヨメン。#③マダ ヨ一ヨマン。(これが適切) #④ヨム コトガ
デケヘン。} (「ヨメレン」《誘導》も言うが、「ヨメン」の方が一般的。「ヨ
メヘン」はちょっと見下げたような気持ち。まだそこまで読書力がないという気

- 持ちをこめとんじやないですかねえ。) *○コドモジャケン {①シンブンガ
②シンブンワ} {①ヨメンダロ ナー。②ヨー ヨマンダロ ナー。} * (可
能は「ヤット ヨメルヨーニ ナッタ ナー。」「コノコー ケッコー {①ヨ
ム カナー。②ヨム ンカナー。(猜疑心を持っているような感じ)})
66. 出られない (心理的状況) ○コンナ フク キテ {①イケル カ。②ヨーイ
カン ワー。(可能の否定) ③デラレヘン《誘導》(可能の否定) }
67. 食べられない ○コレワ {①タベレン ジェ。②タバタラ アカン ジェ。③
タバラレン ジェ。} ドクタケジャ。(①と③は同じような意味。「ジェ」は
「デヨ」とも言う。「デヨ」の方がやわらかい。)
68. 食べることができない ①キョーワ イソガシューテ ヒルメシモ {①クエン
ナー。(男性) ②クー ヒマガ ナイ ナー。(男性) ③タベレン ナー。(女
性) ④タベレヘン ナー。(女性) (①は本人が健康的にすぐれなくて食欲がな
いような感じ。④は何か外部的な事情で食べることができない。③は忙しくて
も、健康上の理由でも使う。)} / ②キョーワ イソガシーテ タベレン ナー。
69. 知るものか ①ホンナン {①シラン ワ。②シレヘン ワ。} # (女性用語)
/ ②ホンナ コトワ ワシャ ジェンジェン {①シル カ。(強い表現) ②シ
ル モン カ。(もっと強い表現) } # (一般的) / # ○～シル カイ。(鳴
門市瀬戸・鳴門町高島地区) / # ○～シル カイヤ。(鳴門市瀬戸地区)
70. 誰が行くものか ○ホンナ トコ ワシャ モー ジェットイ イケヘン。/
②シンダッテ イケヘン ワ。ホンナ トコ。} * ①ホンナ トコ ゼットイ
イケヘン ゾー。/ ②ダレガ イク モンカ。《誘導》(自分がいやだ、行か
ないという気持ちを表す。)
71. なんて行くか (行くものか) ①ホンナ メンドイ トコ イケル カ。/ ②ナ
ント イワレタッテ イケヘン。 * ①ホンナ トコ {①イク カ。②イク
モンカ。} / ②ナンデ イク カ。《誘導》(絶対に行くものか、気に食わんけ
んそういうところへは絶対に行かない。)
72. なんて恥ずかしいものか (なんて恥ずかしがるか) # ①ハズカシー ナイ
デー。デテ キナ。/ ②ジェンジェン ハズカシー コト アル モン カ、オ
マハン。デテ キナ。(「オマハン」は、目上が目下に向かって言うことば。子
どもに向かって言うこともある。もともとは敬語であったかもしれないが、今は
敬語ではない。) * ①ハズカシー コト アル カ。/ # ②ナンジャ ハズカ
シー コト アレヘン デ。
73. 行かないでおるものか (行くとも!) ○トメラレタッテ イク ジェ。(「イ
カイデカ」《誘導》はここで使う人もいるが、少ない。一般的には「イクジェ」
「イクデヨー」だ。)

74. やれるか #○オマハン {①デケル カ。②ヤレル カ。}
75. シテイラン ①モー ホンナンナラ テツナワイデモ エー ワ。/②テツドー
テ モロテ モラワン。(「シテイラン」は徳島市のことば。鳴門市では使わな
い。) *○モー シテ モラワン。
76. 少しもはかどらない ○アツーテ シゴトワ {①デケン ナー。 ②チョット
モ デケヘン ナー。《誘導》(「デケン」よりもやわらかい。) #③イッチョ
モ デケヘン ナー。}
77. ぜんぜんできていない ①ナーンジャ デキトランデ ナイ カ。/②マンデ
デキトランデ ナイ カ。《誘導》(「ネッカラ」を使うのは徳島県もカミの方
<県西の方>。) /#③マルデ デキトランジャ ナイ カ。(②③が一般的)
*①シゴトガ デキトラヘン ナー。/②ジェンジェン ナンジャ デキトラン
ナー。
78. じっくりに降らない ○アメー {①チョットモ #②イッチョモ #③トント}
{①フラン ナー。②フレヘン ナー。}
79. あまり降らない *①アメガ アンマリ フレヘン ナー。/#②アメー ヤン
ダ フレヘン ナー。(「ヤンダ」は「あんまり」の意)
80. (予想外に) たくさん ①コトシワ {①ヨーケ #②クツツラ (鳴門市撫養地
区) #③トーケ (鳴門市大麻地区)} トレタ ナー。(①の方が強い。)
/ *○ジョーニ トレタ ナー。(「ジョーニ」の方がちょっと強いかな。)
②ない。
81. いいではないか ○ホンナ トコエ ワザワザ {①イカイデ #②イカンドモ}
エーデ ナイ デ。
82. いいのではないか #①ワザワザ イカンドモ エーンド ナイ デ。/② ~
エーント {①チガウ カ。②チガウ デ。③チャウ カ。④チャウ カ。}
83. いいかもしれない ○ワザワザ イカイデモ エーント チガウ カイナー。
*○イカイデモ エーント チャウ デー。(「イーカモシレン」「エーカモワ
カラン」《ともに誘導》は土地のことばではない。)
84. 行かないか ○イッシュヨニ イケヘン デ。 *○イッシュヨニ {①イケヘン
デー。②イカン デー。③イカン カー。(気やすい人に)}
85. くれぬか ○モッテ クレヘン デ。(みんな「ヘン」をつける。)
*①モッテ クレン カ。(親しい人に)/②コレ モテー ダ。(ちょっと見
下げた感じの言い方)
86. くれませんか ○コレ モッテ クレマヘン デ。 * (「マヘン」をつけると
ていねいになる。)
87. 下さいませんか #①コレ モッテ クレマヘン デー。 *②コレ モッテ

ツカハラン デ。(「ツカハル」はあるが、ずっと年配の人しか使わない。#今では使用度が非常に少ないと思う。)

88. 行かないと(～行けば)(勸奨) ○ハヨー {①イケ ダ。②イケ。} (きついことば。ぞんざいなことば。「ダ」のつく方がちょっとやわらかい。)

*①ハヨー イカント イカン ワ。/②ハヨー ハヨー。/③ハヨー イカンカ。/④ハヨー イカント。《誘導》(この言い方はある。)/⑤ハヨー イカニャー。(④と同じような内容。)

III. 総括(まとめ)

以上の記述に基づいて、徳島県鳴門市方言の否定の表現の特徴点について摘記すると、おおよ次のようになる。

(1) 否定の表現には「行かない」「降らない」を「イカン・イケヘン」「フラン・フレヘン」と言い、それぞれ2種類の言い方がある。「イカン・フラン」がこの地の旧来の表現であろうが、今は「イケヘン・フレヘン」式の「～ヘン」が定着し、よく関西方言的特色を発揮している。ていねいには「イキマヘン・イケシマヘン」のように言う。敬語としては「イキナハラン・オイデナハラン」がある。「～てくださいませんか」の「～テツカハランデ」は、今では“死語”に近いほどに使用者が少なくなった。「知らない」は「シラン・シレヘン」、「居ない」は「オラン・オレヘン」、「来ない」は「コン・キエヘン」、「しない」は「セーヘン」、「出ない」は「デーヘン」、「見ない」は「ミーヘン」(「メーヘン」ではなく)である。「無い」には「ナイ」と「アレーヘン」とがある。「花ではない」は「ハナトチガウ」と言う。「～とちがう」(～トチガウ・チャウ・チャウ)形式の否定表現に、関西方言に連なる当地方言の一つの特徴を指摘することができる。「暑くない」「涼しくない」は「アツーナイ」「スズシューナイ」、「恥ずかしくない」は「ハズカシーナイ」であった。「にぎやかで(は)ない」は「ニギヤカデ(ワ)ナイ」とあった。「行きたくない」には「イキターナイ・イキトーナイ」両形があるが、前者が一般的であるという。

(2) 「行きはしない」「来はしない」のような強調形は特になく、「イケヘン」「キエヘン」である。というより、「イケヘン」「キエヘン」がもともと「行きはせぬ」「来はせぬ」に由来するものであろう。ただし、「行きはせぬ」「来はせぬ」の、より直接的な形式と思われる「イカヘン」「キーヘン」は大阪ことばとされ、当地方言としては「イケヘン」「キエヘン」が使われている。

(3) 否定推量の表現には「フランダロ・フレヘンダロ」(降らないだろう)がある。これも「フレヘンダロ」の方が多い。関西方言に連なる当地方言に、「～ヤロ」ではなく、「～ダロ」がよく行われていることは注目される。(ちなみに、断定の助動詞としては、言い切りの「～ジャ。」や「～ジャケン」「～ジャケンド」はあるが、推量の「～ジ

ャロ」はほとんど使われることがなく、「～ダロ」が使われる。「早く行け。」の「ハヨ一イケダ。」、「これを持って。」の「コレモテダ。」の「ダ」もある。)なお、否定推量・意志の助動詞「まい」は使われていないようだ。「無いだろう」には「ナイダロ(一般的)」、「ナイヤロ(若者)」がある。「雨だろう」にも「アメダロ(一般的)」、「アメヤロ(若者)」がある。「ナイジャロ」「アメジャロ」も以前はあったと思われるが、今日ではほとんど使われることがなくなった。「ナイヤロ」「アメヤロ」は若者ことばないしは大阪などからの外来のことばとされる。

(4) 否定過去の表現は「イカナンダ・イケヘナンダ」(行かなかった)のように「～ナンダ」が使われる。「イケヘナンダ」の方が定着している。「来なかった」は「コナンダ・キエヘナンダ」である。「行きはしなかった」も「イケヘナンダ」であって、「行かなかった」と区別される特別の形はない。「無かった」は「ナカッタ」、「ありはしなかった」は「アレーヘナンダ」と言う。「にぎやかで(は)なかった」は「ニギヤカデ(ワ)ナカッタ」である。

(5) 「行かずに」は「イカント・イカイデ・イカンズク」、「行かなくても」は「イカナンデモ・イカイデモ」、「行かなければ」は「イカナンダラ・イカナ」、「行かねばならない」は「イカナナラン・イカンナラン」のように言う。

(6) 禁止表現には、「イクナ」(行くな)、「スナ・スルナ」(するな)のほか、「～シタラアカン・アケヘン」の「アカン・アケヘン」があって、関西方言的である。「イカン」もある。いまひとつ、「ユワレン」(言っではいけない)、「イカレン」(行っではいけない)、「セラレン・シラレン」(してはいけない)の「～レン・ラレン」がある。当地で掲示に見られる「ここに自転車はオカレマセン」は「置いてはいけません」、「この池の魚はツラレマセン」は「釣っではいけない」の意であって、可能・不可能の意ではない。

(7) 可能・不可能の表現は、「デキル」(できる)に対する「デケン・デケヘン」(できない)、「ヨメル」(読める)に対する「ヨメン・ヨメレン・ヨメヘン」(読めない)の言い方があるが、状況可能・不可能と能力可能・不可能との区別はなさそうである。ただし、「クエン」(食えない)は食欲がなくて、「タベレヘン」(食べられない)は忙しくて、「タベレン」はどちらでも、という趣旨の説明があったことからすれば、なにがしかの使い分けがあるのかもしれない。「ヨーイカン」(行くことができない)は能力にかかわるものであろう。

(8) 否定の問いかけに対する応答は、問いかけに応じて、その肯定であれば「エー」、その否定であれば「イヤー」で応じる。

(1995.5.3)

(おの・よねいち、鳴門教育大学)